



心身障害児通園施設 『大館市ひまわり園』設置

市では、今年度から心身障害児通園事業をスタートさせ、城南保育園の施設の一部に通園施設「大館市ひまわり園」を設置しました。四月十一日に入園式が行われ、翌日から訓練を開始しています。

城南保育園に ひまわり園を併設

心身障害児通園事業は、国・県からの補助を受けながら、心身障害児に対して日常生活に必要な指導や訓練をし、心身障害児の育成の助長を図ることを目的としています。事業の実施に伴い、城南保育園の施設の一部に通園施設「大館市ひまわり園」を設置しました。これまで身体障害者福祉センター（餌釣）で行ってきた心身障害児訓練は、この事業に吸収するかたちになりました。

心身障害児訓練は、昭和五十三年度から市の単独事業として行ってきました。子供たちを二班に分けて、それぞれ月曜日と水曜日に訓練を実施してきたほか、月二回合同訓練日を設け、保母や指導員のほかに保健婦や県中央児童相談所の専門員にもきてもらい、指導などを行ってきました。

心身障害児通園事業は、こうした内容をさらに充実させ、よ

り効果的な指導、訓練を目指しています。

専任の保母 3人を配置

ひまわり園には、園長（城南保育園兼任）と専任の保母三人、嘱託医一人が配置されています。就学前の一歳児から五歳児までを対象とし、年齢などによってグループ分けして訓練をします。一つのグループで週二回から三回、訓練を受けることになりました。また、毎月第一及び第三水曜日に保健センターで、各グループ合同の訓練を行います。この合同訓練には専任保母のほか、保健センターと保健所の保健婦、家庭相談員も加え、指導に当たります。さらに合同訓練日に母親学習会も開催し、母親との情報交換を図りながら、きめの細かい指導、訓練を行います。

入園の手続きなど詳細については、福祉事務所（内線209・216）へお問い合わせください。

人事異動

— 行政サービスの向上を目指して —

市は、四月一日付で人事異動を行いました。今回の特徴は、コンピュータの本格的な稼働に伴い、企画調整課電算管理係と市民課市民係の組織体制を整えたことと、高齢者福祉政策の拡充を図るため、これまでの福祉事務所高齢者福祉担当を係にし、職員を増やしたことです。なお、課長級以上の人事異動は次のとおりです。

市役所

◇：市長事務部局：◇

産業部長	庄司富佐男
職員課長	松井 勇一
財政課長	伊藤 松治
管財課長	長崎 武
市民生活課長	田村常次郎
福祉事務所長	石井 旬
福祉事務所主幹	小畑 順
(社会福祉協議会派遣)	
農林課長	菅原 正康
会計課長	石戸谷普覚
◇：議会事務局：◇	
事務局長	桜庭栄次郎
◇：教育委員会：◇	
教育次長	浜松 和男
中央図書館長	村谷 三夫
市民文化会館長	鈴木 英一
(兼管理係長)	
◇：監査委員事務局：◇	
事務局長	三浦 勉

市立病院

◇：水道課：◇

院長	田中 隆夫
副院長	神部 憲一
副院長	林 進
◇：事務局：◇	
出納室長	菅原 正人
◇：診療局：◇	
診療局長	武内 俊
(兼手術室部長)	
外科部長	猪野 満
(兼放射線科部長)	
小児科部長	高橋 義博
産婦人科部長	高橋 秀身
神経精神科部長	安藤 嘉朗
第一内科副部長	神 裕
薬剤科部長	高嶋 宏悦
◇：看護部：◇	
副看護部長	越前屋良子
(兼神経精神科看護婦長)	